

brother

3本糸縁かがりぬいミシン

# ホームロック

TE4-B930/B935

## 取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。この製品の素晴らしい性能と、その正しい使いかたをご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。

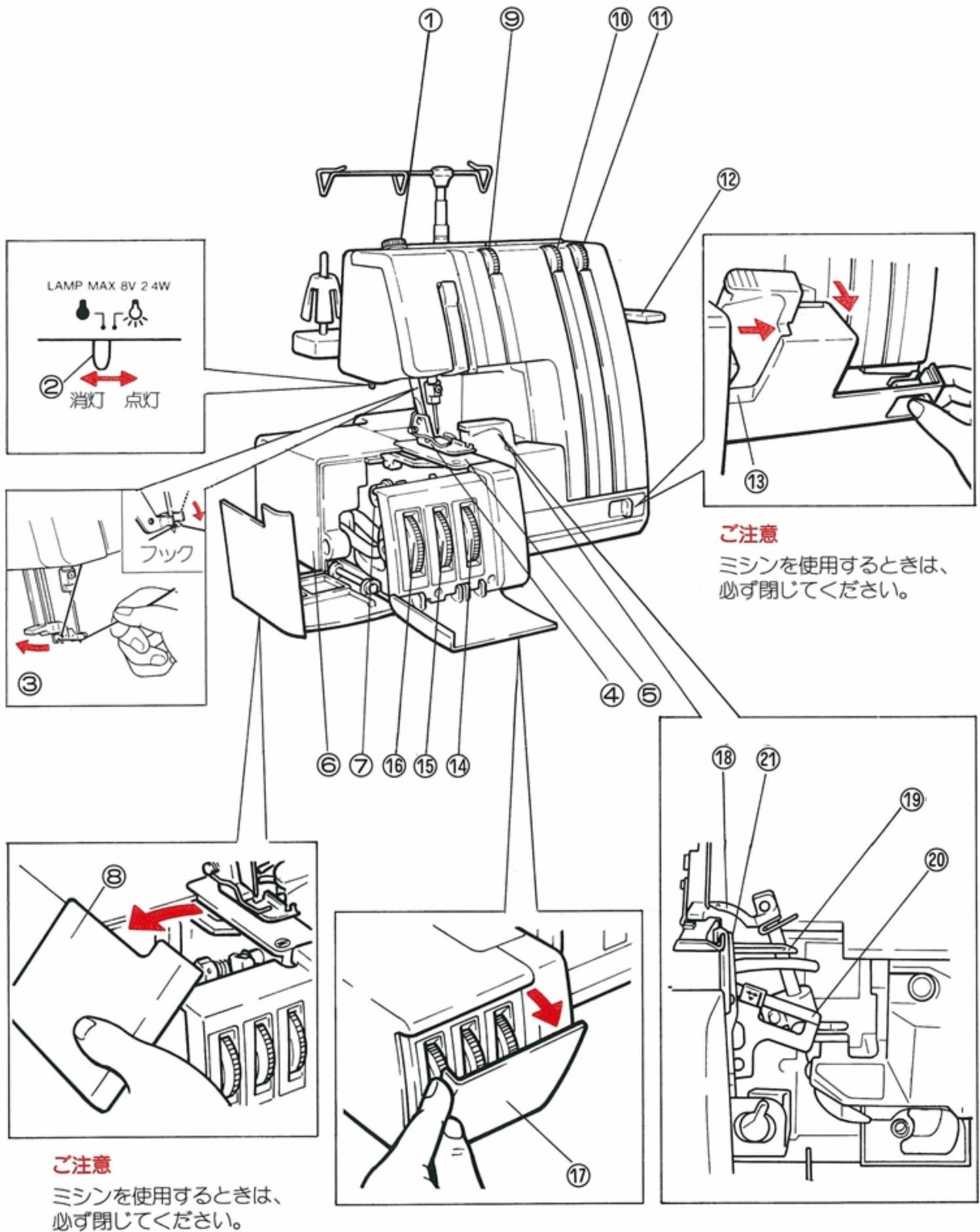


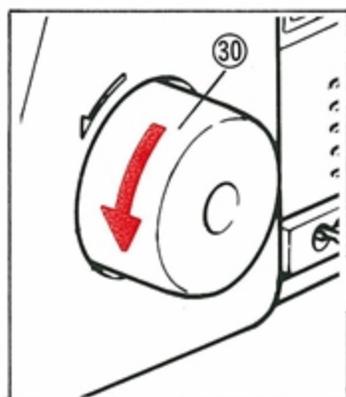
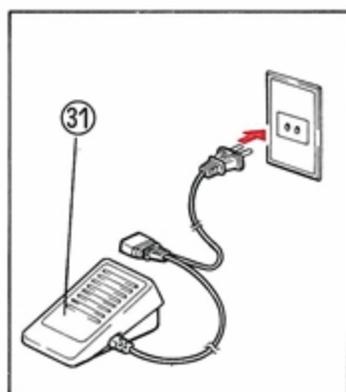


# も く じ

1. 各部の名称	1・2
2. 付属品	3
3. 針の取り替え	4
4. 使用前の準備	5
糸こまキャップの取り付け方	
5. 糸の通し方	6～10
糸を通す前に	
糸通しの順序	
オーバールーバー糸の通し方	7
裁縫中にオーバールーバー糸が切れたときは	
アンダールーバー糸の通し方	8
裁縫中にアンダールーバー糸が切れたときは	
針糸の通し方	9
針穴糸通し装置の使い方	10
6. ぬってみましょう	11
7. ぬい目の種類	12
8. 布地・糸・針の関係	13
9. 糸調子	14～16
糸調子つまみ	
糸調子の調節順序	
こんなときには	15・16
10. ぬい目ピッチとかがり幅の調節	17
11. 差動送り装置付ミシンの場合	18
12. 押え圧力の調節	19
13. 布押えの取りはずし、取り付け方	19
14. 巻きぬいと細口ツクぬい	20・21
布地・糸の種類と糸調子	
15. 注油とお手入れ	22・23
16. こんなときには	23
17. ランプの交換	24
18. 上メスのたおし方	24
別売り布押えのぬい目	25
19. 仕様	26

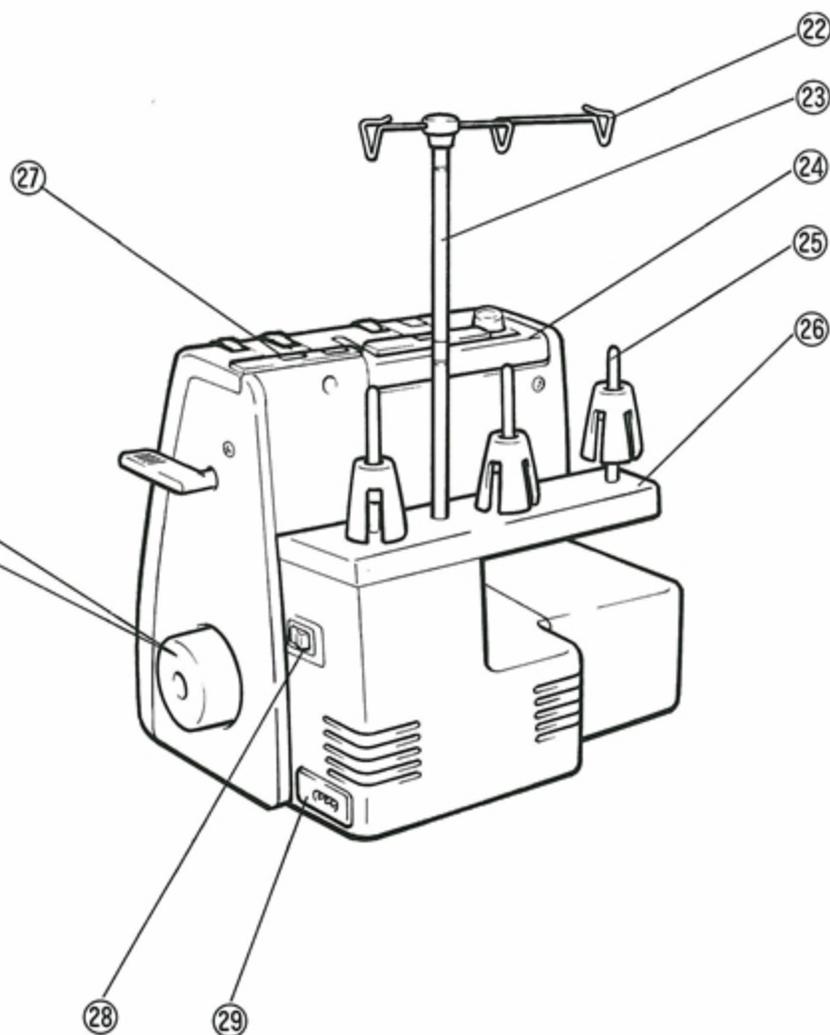
# 1. 各部の名称





### ミシンの回転方向

プーリーの回転方向は普通の家庭用ミシンと同じ方向です。  
(矢印の方向です)

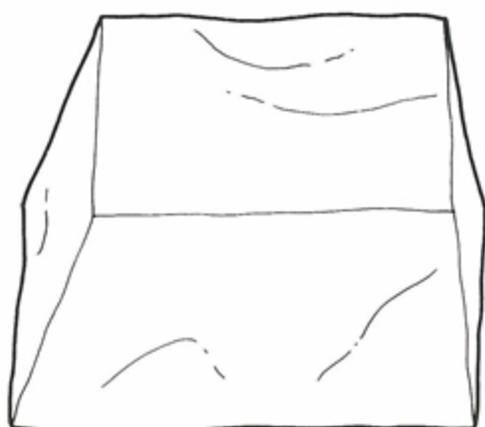


- ① 押え調節ダイヤル
- ② ランプスイッチ
- ③ 針穴糸通し装置
- ④ 布押え
- ⑤ 針板
- ⑥ 布板カバー後
- ⑦ 上メス切換つまみ
- ⑧ 布板カバー前
- ⑨ 糸調子ダイヤル  
(針糸用)
- ⑩ 糸調子ダイヤル  
(オーバールーパー糸用)

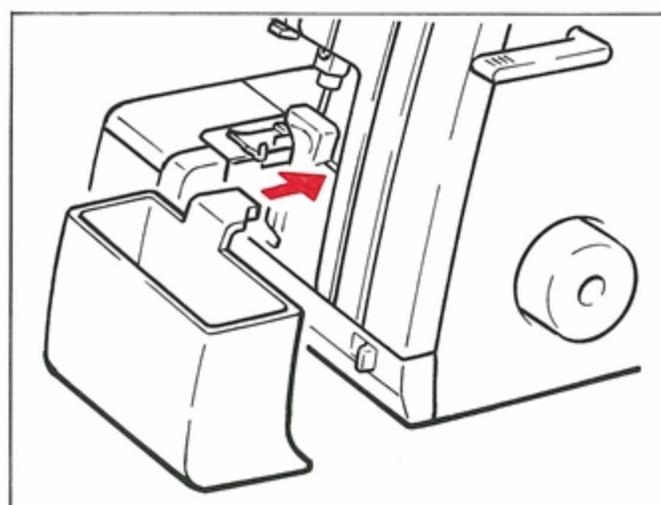
- ⑪ 糸調子ダイヤル  
(アンダールーパー用)
- ⑫ 押え上げレバー
- ⑬ 前カバー
- ⑭ カがり幅調節ダイヤル
- ⑮ ぬい目ピッチ調節ダイヤル
- ⑯ 差動送り調節ダイヤル  
(TE4-B935の場合)
- ⑰ コントロールカバー
- ⑱ オーバールーパー
- ⑲ アンダールーパー

- ⑳ アンダールーパー糸通し装置
- ㉑ 移動ステッチタンク
- ㉒ 糸かけ
- ㉓ スタンド
- ㉔ ハンドル
- ㉕ スプール軸
- ㉖ 糸立て台
- ㉗ 糸案内
- ㉘ 電源スイッチ
- ㉙ 三極ソケット
- ㉚ プーリー
- ㉛ コントローラー

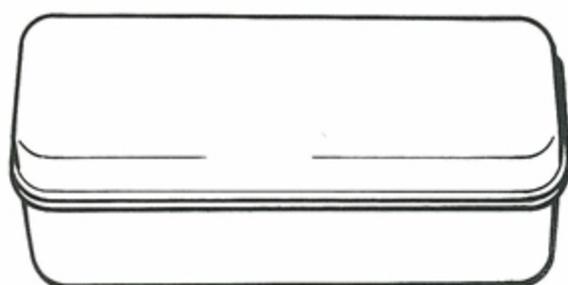
## 2. 付属品



ミシンカバー(1枚)



ダスターボックス



アクセサリーボックス(1箱)



油差し(1本)



ミシンブラシ(1本)



ネット(3個)



糸こまキャップ(3個)



ピンセット(1本)



ミシン針(4本)

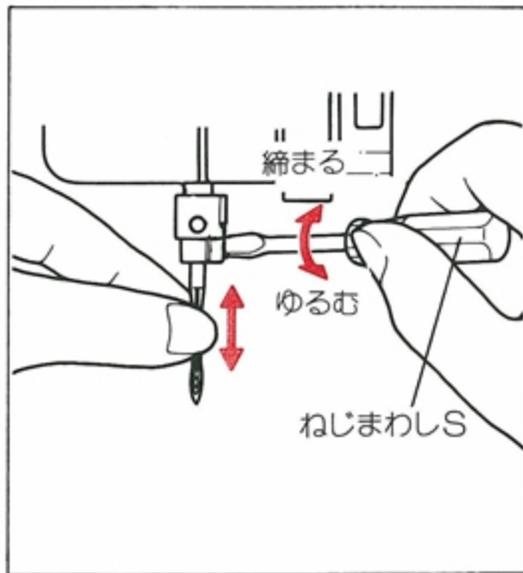
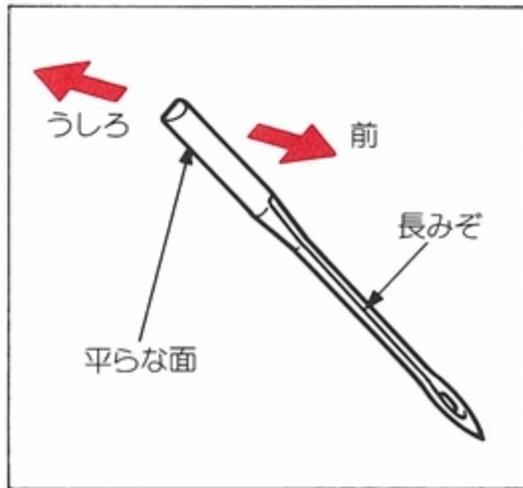


ねじまわし(1個)



ねじまわしS(1本)  
(針交換用)

# 3. 針の取り替え



ミシンの針は、HLX5(11番、14番)をご使用ください。  
(HAX1、11番、14番、16番もご使用できます)

## 正しい針の調べ方



## 取りはずし方

- 1) 電源スイッチを〈OFF〉にします。
- 2) プーリーを回し針を最上位にします。
- 3) 針締めねじをゆるめて、針を取りはずします。

## ご注意

- 針締めねじをゆるめるときは、針を落とさないように注意してください。

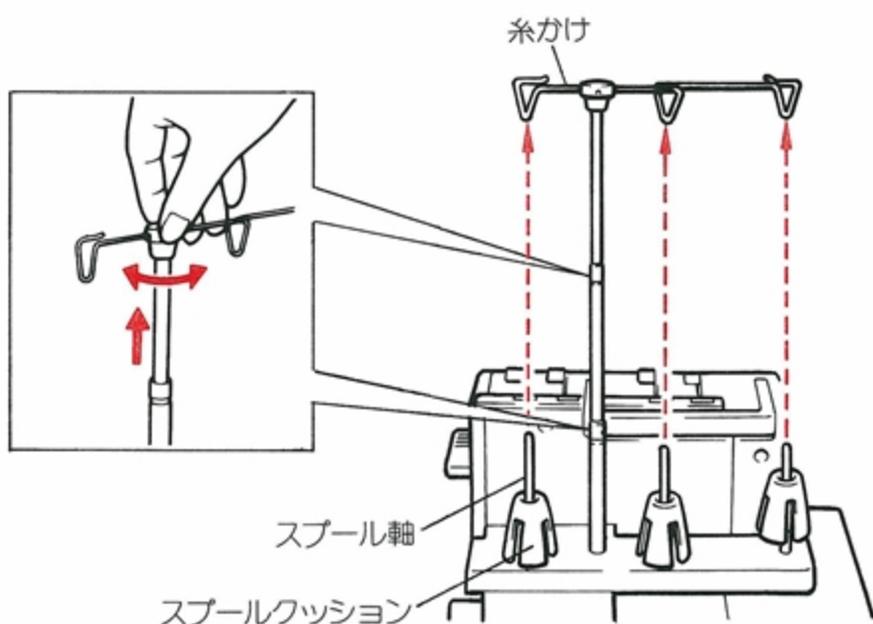
## 取り付け方

- 1) 電源スイッチを〈OFF〉にします。
- 2) プーリーを回し、針を最上位にします。
- 3) 針の平らな面をうしろにして、完全につかえるまで針を差し込みます。
- 4) 針締めねじを締め付けます。

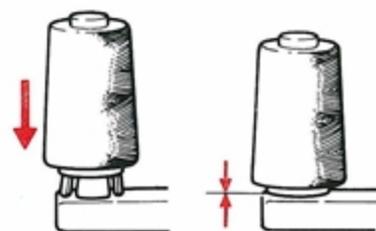
## 4. 使用前の準備



ミシンを使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグをぬいてください。

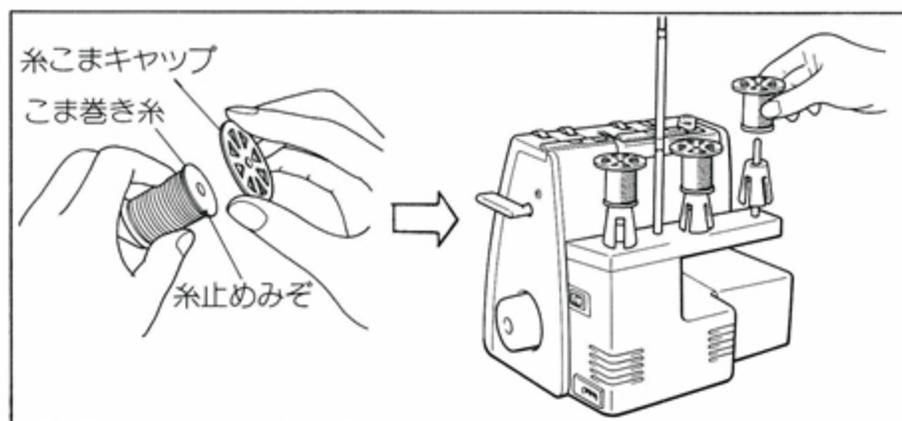


スタンドを伸ばし、糸かけがスプール軸の真上にくるように位置決めをします。



糸こまを糸立て台にセットします。

### 糸こまキャップの取り付け方



このミシンはチーズ巻き糸と、こま巻き糸が使用できます。  
※こま巻き糸は、糸巻きの糸止めみぞのあるほうに糸こまキャップをはめてください。

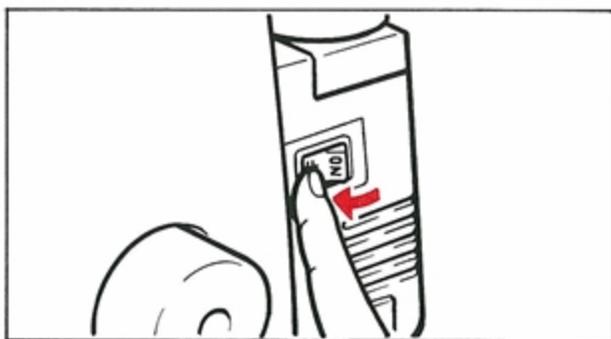
### ご注意

ウーリーナイロン糸を使用するときや、糸が糸案内からはずれるときは、ネットを付けてお使いください。

チーズ巻き糸 ネット上端と糸巻き上端を合わせます。



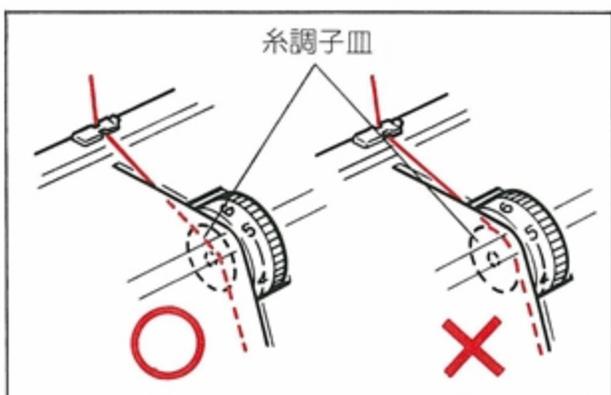
## 5. 糸の通し方



### 糸を通す前に

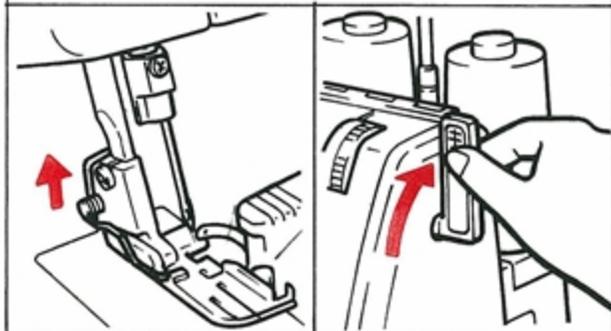
1) 安全のため、電源スイッチを〈OFF〉にします。

2) 押えあげレバーを上げて、布押えを上げます。  
布押えが上がっているときは、ミゾ内部の糸調子皿が開き、糸が正しく入ります。そうしないと、正しい糸調子が得られません。

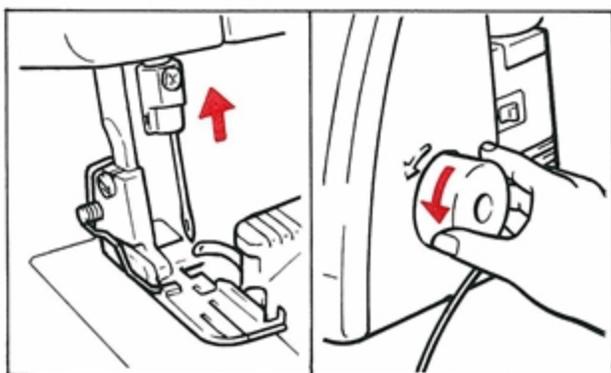


### ご注意

糸を通すときはかならず押えあげレバーを上げてから、順序に従って通して下さい。



3) プーリーを回しながら、オーバールーパー糸、アンダールーパー糸、針糸、それぞれの糸通ししやすい位置をさがし、下記の順序で通します。



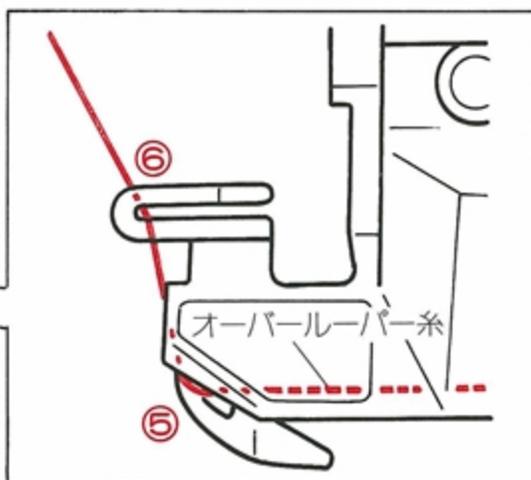
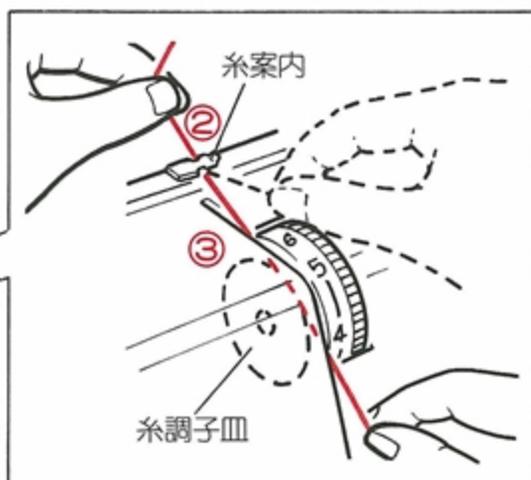
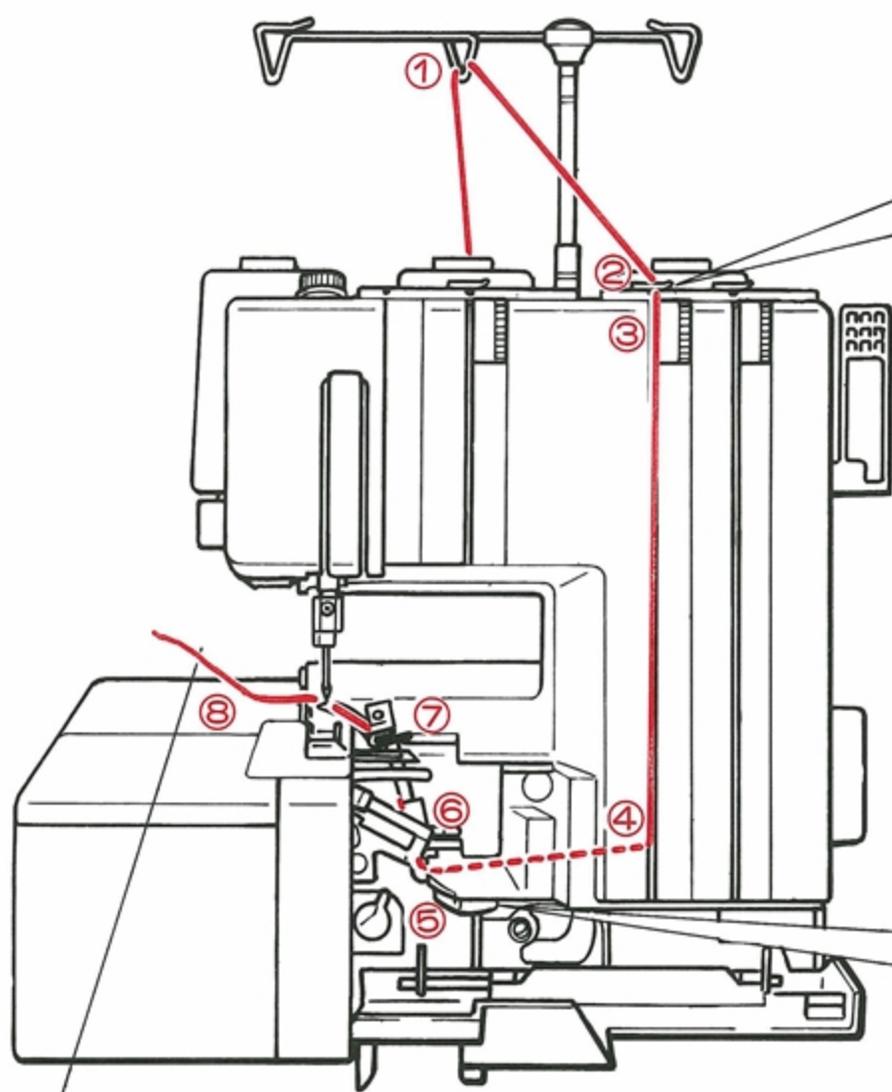
### 糸通しの順序

次の順に糸を通してください。

- 1) オーバールーパー糸(緑)
- 2) アンダールーパー糸(青)
- 3) 針糸 (黄)

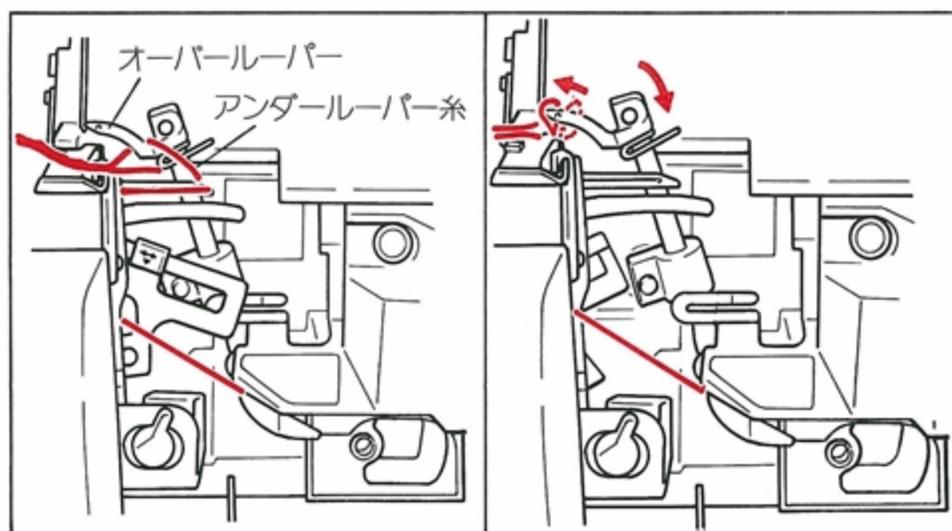
# オーバールーパー糸の通し方

番号順に糸を通します。



糸は15cmほど引き出しておきます。

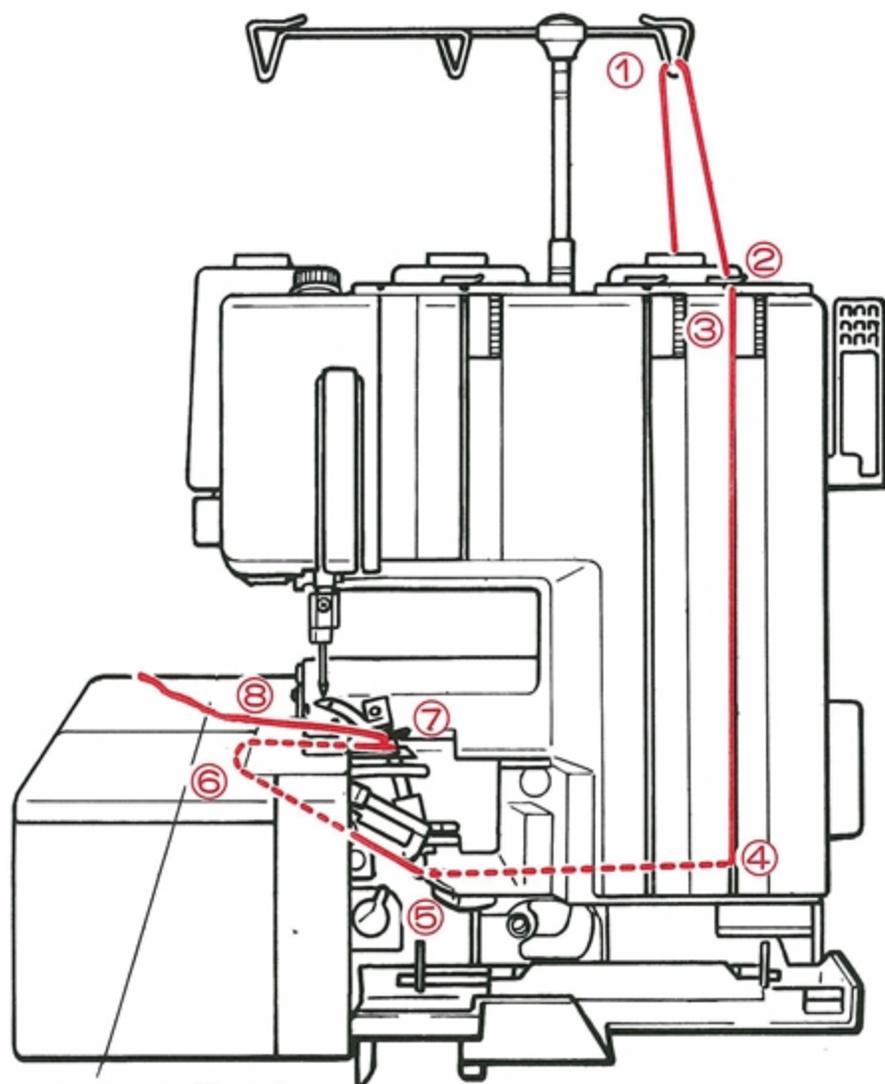
裁縫中にオーバールーパー糸が切れたときには



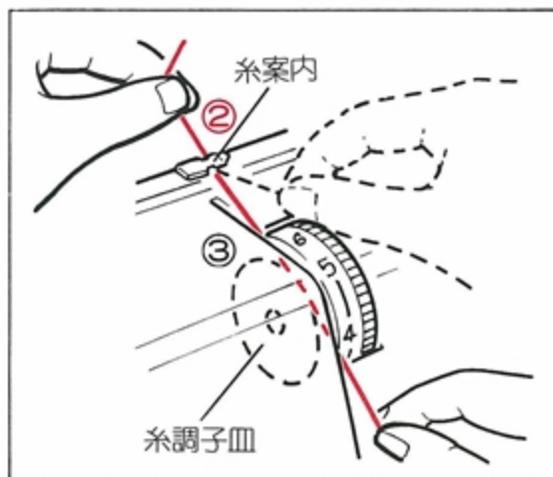
アンダールーパー糸が、オーバールーパーにかかっていることがあります。この場合は、プリーを右に回して(逆に回す)オーバールーパーを下げ、アンダールーパー糸をオーバールーパーからはずします。オーバールーパー糸を通し直してください。

# アンダールーパー糸の通し方

番号順に糸を通します。



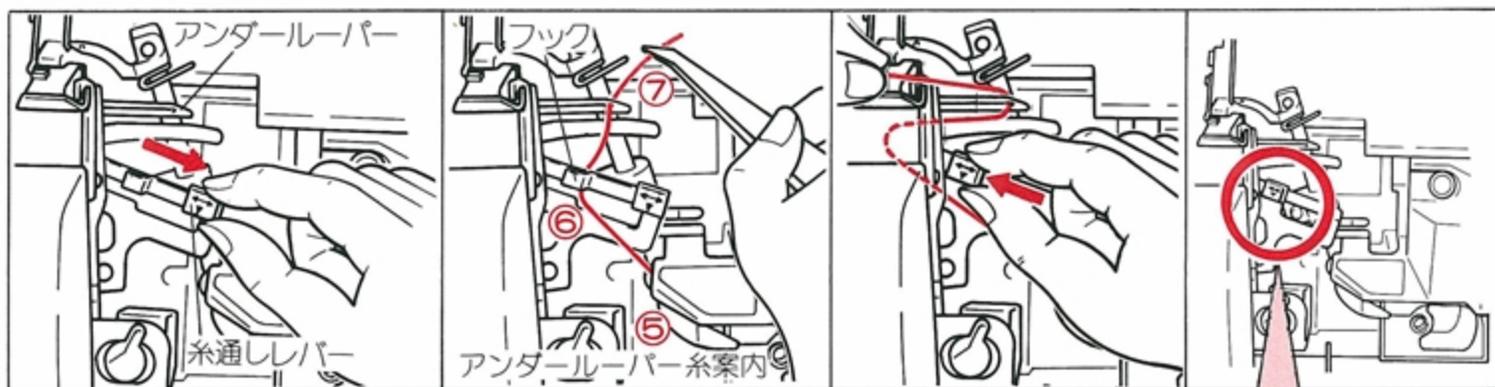
糸は15cmほど引き出しておきます。



## 裁縫中にアンダールーパー糸が切れたときは

アンダールーパー糸を通し直す前に針糸を針からはずし、それから、アンダールーパー糸を通し直してください。

この順序で直ししないと、糸切れの原因となります。



## 糸通し装置の使い方は

- ①糸通しレバーを引き出します。
- ②フックに糸をかけ、アンダールーパーに糸通しします。
- ③糸のはしを持ちながら、糸通しレバーをもとの位置にもどします。

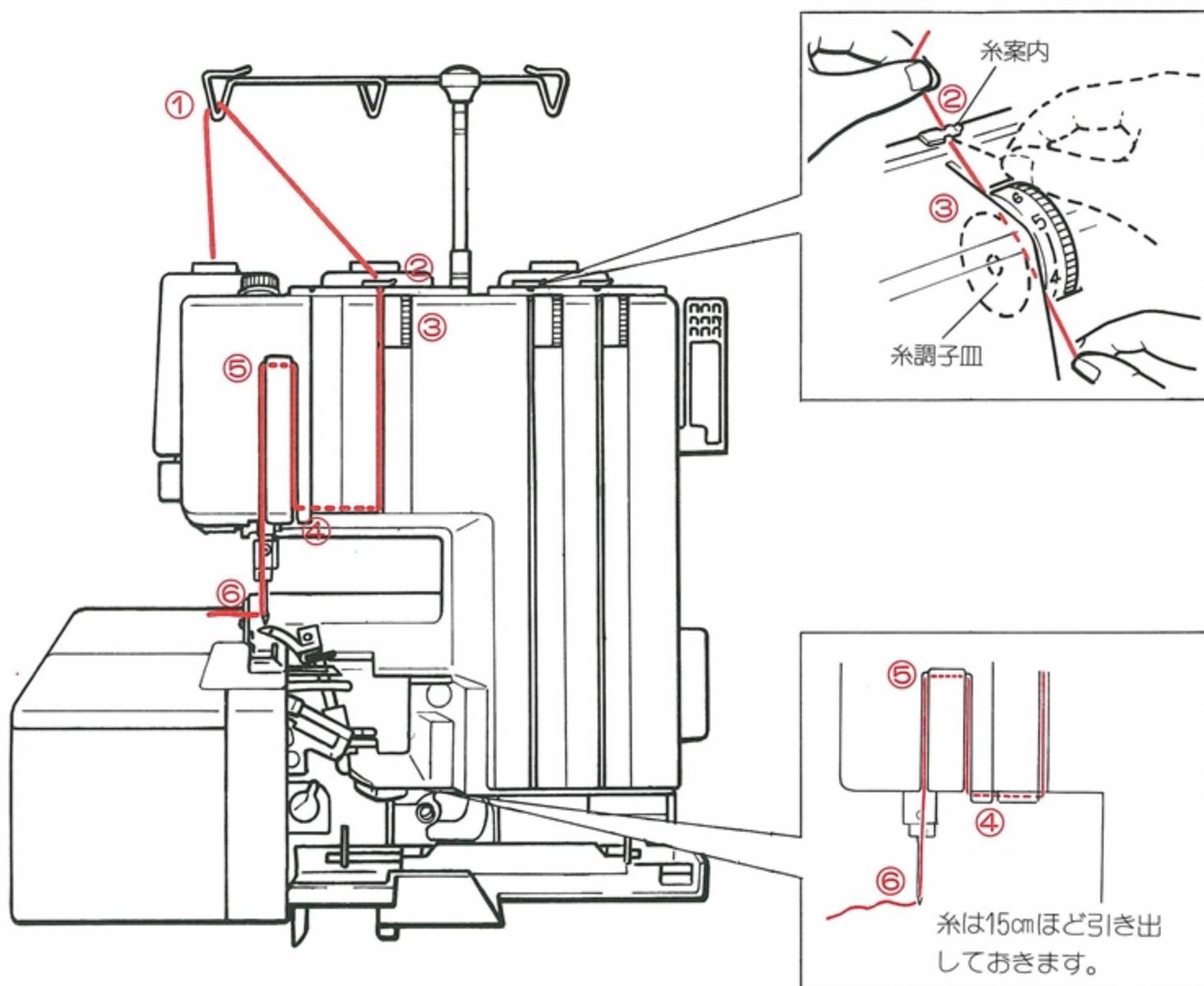
### ご注意

糸通しレバーをもどすときは、必ず青い▼印を▲印の位置に合わせて下さい。(カチッと音がする)

# 針糸の通し方

## ご注意

必ず、アンダールーパー糸およびオーバールーパー糸を通してから行ってください。はじめに押え上げレバーをあげてから図の順序に従ってかけて下さい。



# 針穴糸通し装置の使い方



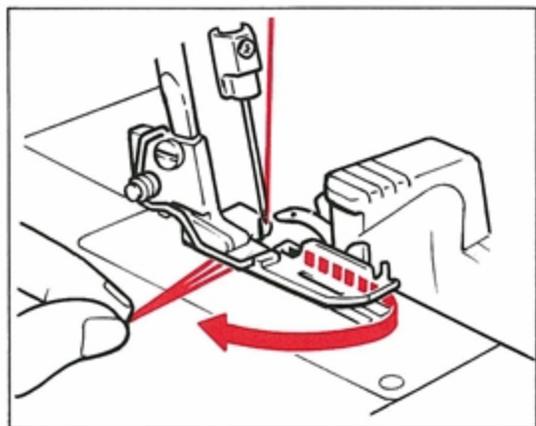
## 針穴糸通し装置の使い方

1. 押え上げレバーを下げます。
2. 針を最上位置にします。(合印A・Bを合せます)
3. レバー①を矢印の方向に下げながら、ガイド②に糸を掛けます。
4. 押し下げたレバー①をそのまま矢印方向③に回し、針穴へフック④を通します。
5. 次にガイド②からフック④へ糸を掛けます。  
このとき糸をかるく引き確認します。
6. 糸を軽く持ったままレバー①を⑤の方向へ回します。
7. レバー①から手をはなし、糸をうしろへ引き出します。

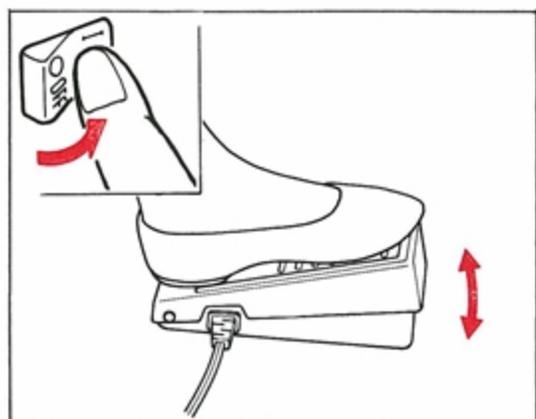
糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組合せは、下記のとおりです。

針の太さ	糸の太さ
# 11	50 番
# 14	30 番
# 16	20 番

## 6. ぬってみましょう

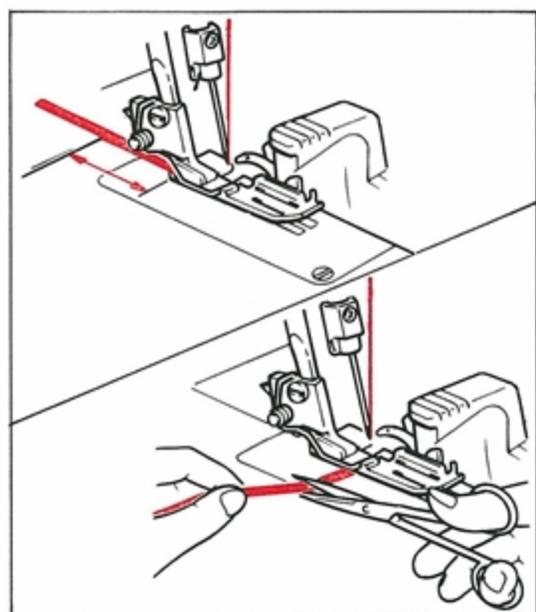


- 糸を通し、布押えの左に15cmほど引き出しておきます。
- 布地を布押えの下にセットし、プーリーを2~3回手で回します。
- 糸のからみぐあいを確認めます。  
もし正しいぬい目ができないときは、糸通しが正しくできているかどうか確かめてください。



### 運転操作

- 電源スイッチを〈ON〉、ランプスイッチを〈点灯〉にします。
- コントローラーは、強く踏むほど速くなります。
- 布地をセットし布押えを下げ、試しぬいをします。

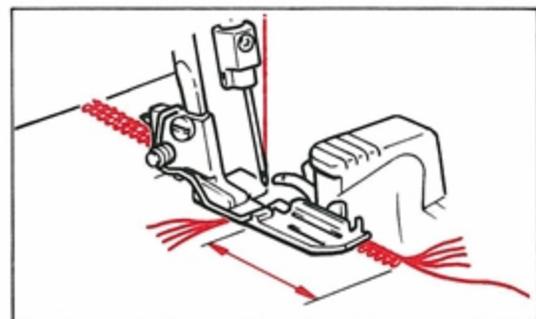


### ぬいものをはずすには

- 布地の端までぬい終わったら、5cmほどカラぬいをします。  
カラぬいした糸を切ります。

### カラぬい

- ぬい終わったあと、しばらくミシンを低速で回します。  
(カラぬい)  
糸がからんでチェーンができ、自動的に送られます。



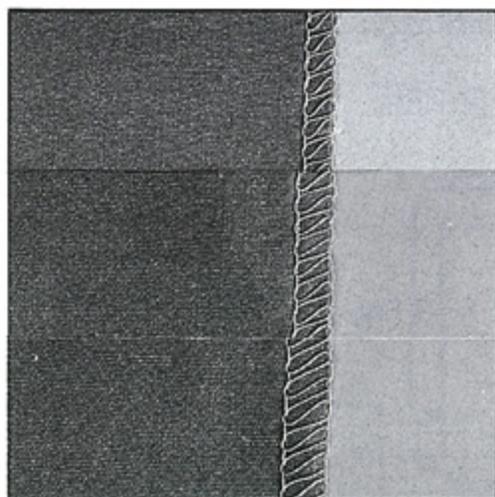
### 裁縫中に糸切れしたときは

- 布地をはずし、正しく糸を通し直します。  
(6~10ページ糸の通し方参照)  
糸切れしたところから3~5cm前の部分を布押えにセットし、前にぬったぬい目の上からぬいます。

## 7. めい目の種類

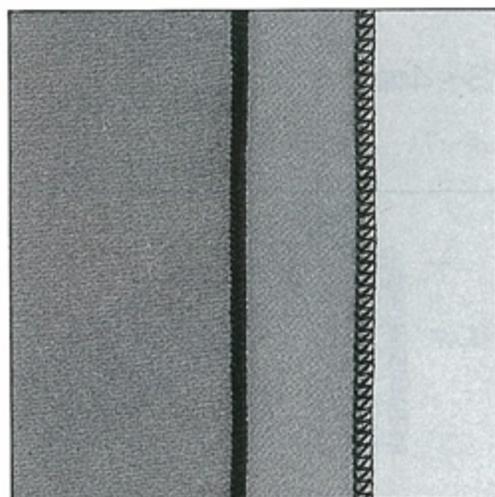
---

※これらのミシンは、簡単な操作で、次の2種類のめい目をぬうことができます。



### 1. 3本糸縁かがりぬい (かがり幅3、4、5mm)

用途：スーツ、ブラウス、スラックスなどの縁かがり



### 2. 巻きぬい／細ロックぬい

(20・21ページ巻きぬいと細ロックぬい参照)

## 8. 布地・糸・針の関係

●この表を目安にすれば、きれいなぬい目が得られます。

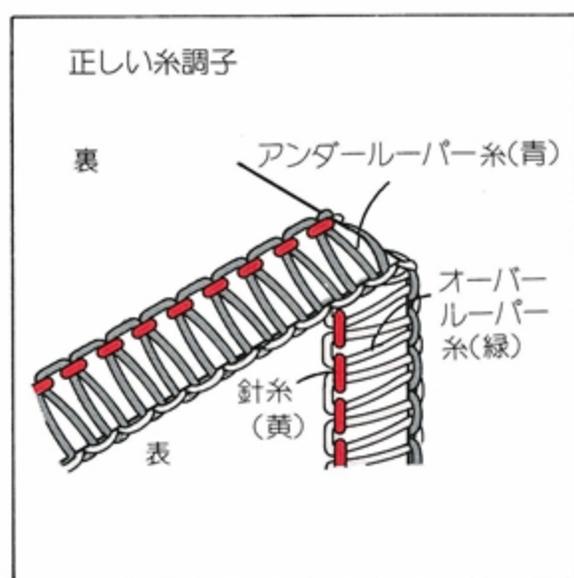
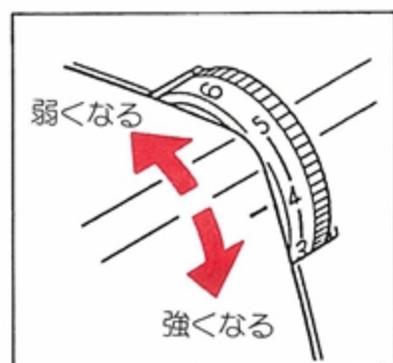
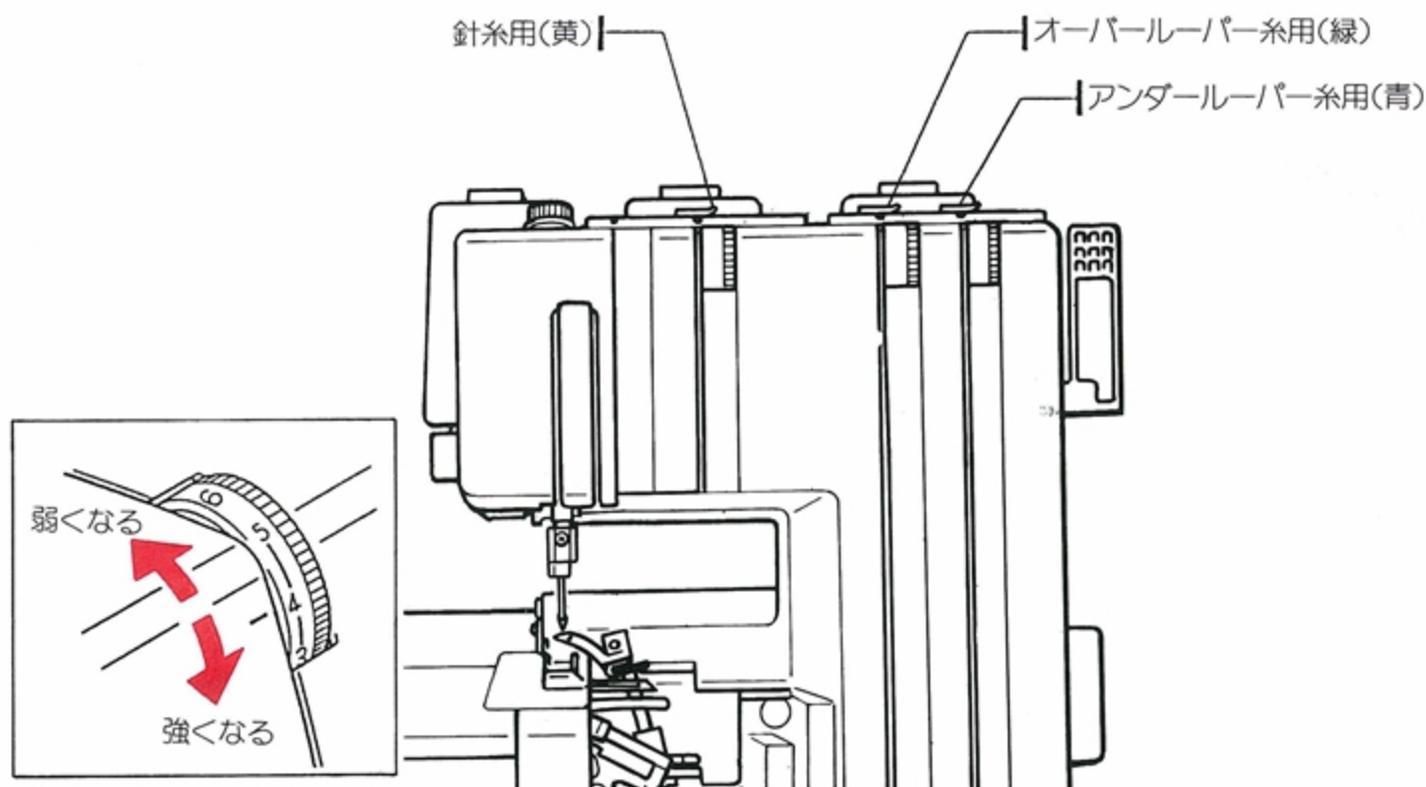
布地の種類		糸の種類		ぬい目ピッチ	ミシン針
薄地	クレープデシン ジョーゼット オーガンジー	スパン糸 綿糸 絹糸	80番～100番 80番～100番 80番～100番	2～3mm	HL×5 (11番) HA×1 (11番)
普通地	プリンム ボングム ブロード ブローカ サツカ ギヤバジ サバー ※メリヤス ※トリコット	スパン糸 綿糸 絹糸 テトロン糸 ナイロン糸	60番～80番 60番～80番 50番～80番 50番～80番 50番～80番	2.5～3.5mm	HL×5 (11番又は14番) HA×1 (11番又は14番)
厚地	カシミヤ デニム ツイード ※ジャージー	綿糸 絹糸 テトロン糸 ナイロン糸	40番～60番 40番～60番 30番～60番 30番～60番	3～4mm	HL×5(14番) HA×1 (14番又は16番)

※特にメリヤス・ジャージーなどのニット地は、下表を参考にするとより美しくぬい上がります。

布地の種類		糸の種類		ぬい目ピッチ	ミシン針
ニット地	トリコット メリヤス ジャージー 毛糸編地	スパン糸 綿糸 テトロン糸 ウーリーナイロン糸(アンダー・オーバーレーパー糸用) ウーリーテトロン糸(アンダー・オーバーレーパー糸用)	60番～80番 60番～80番 60番～80番	3～4mm	HL×5 (11番又は14番) HA×1 (11番又は14番) HA×1(ゴールデン針) (11番又は14番)

# 9. 糸調子

## 糸調子つまみ



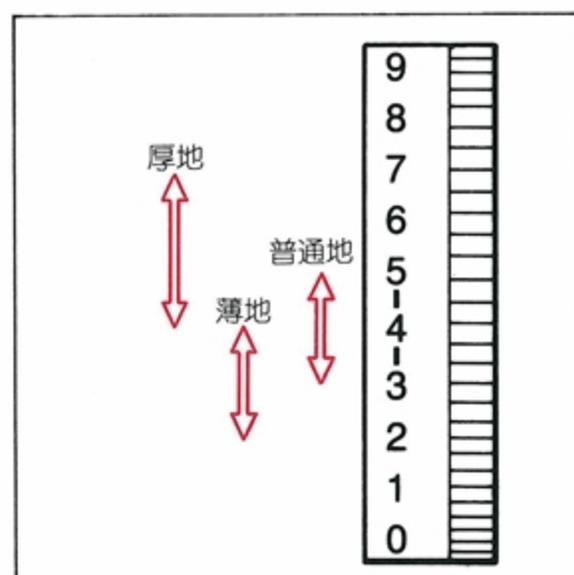
### 糸調子のとりかた

ほとんどの場合“4”の位置でぬえますが、もし正しい糸調子が、得られない場合には、15～16ページの“こんなときには”に従って調節してください。

### 簡単に糸調子を得るためには…

糸調子のチェックおよび調節は、次の順序で行ないますと、最も簡単に正しい糸調子が得られます。

- 1) 針糸の糸調子
- 2) オーバールーパー糸の糸調子
- 3) アンダールーパー糸の糸調子

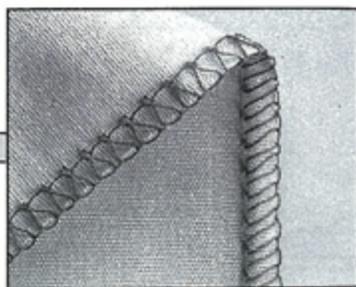
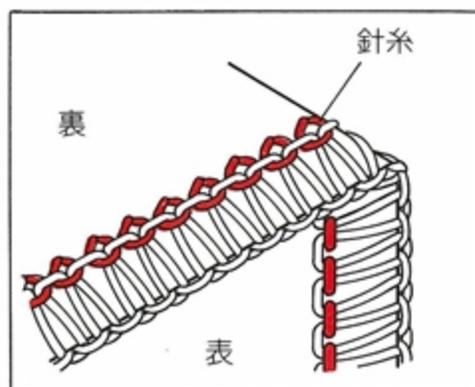


### 糸調子のめやす

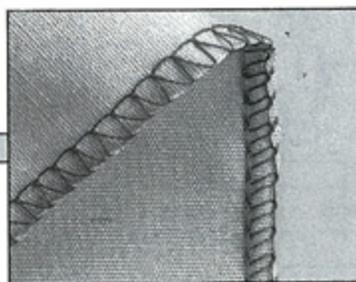
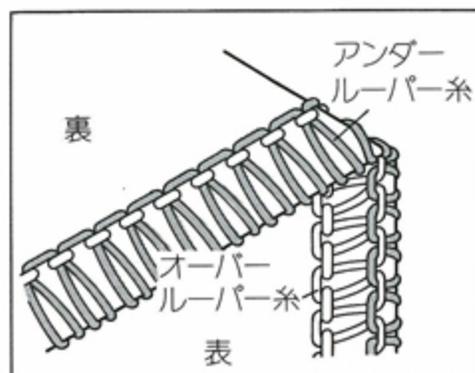
布地の種類や糸の種類・太さにより、糸調子が異なることがありますので、各々のダイヤルを左記の範囲で調節してください。

# こんなときには

こんなときには

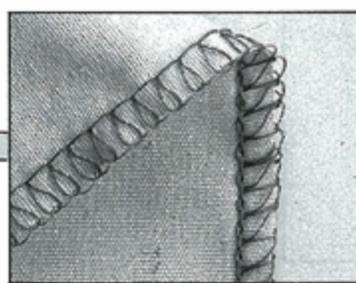
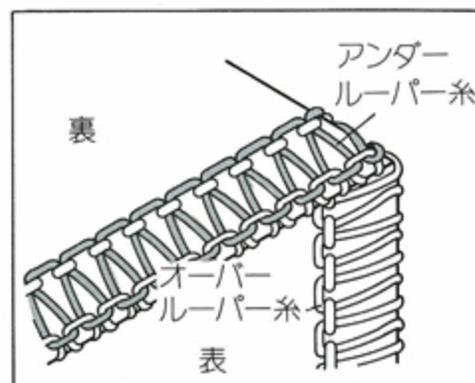


針糸が弱過ぎる。



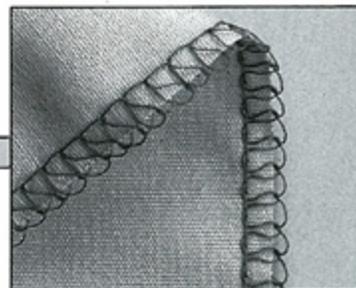
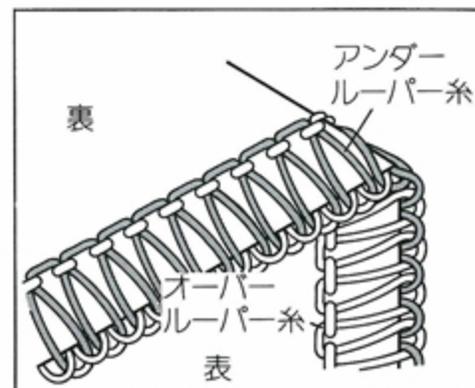
オーバールーパー糸が強過ぎる。

アンダールーパー糸が弱過ぎる。

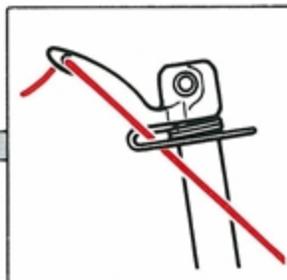


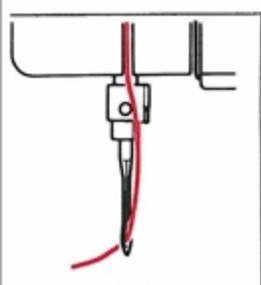
オーバールーパー糸が弱過ぎる。

アンダールーパー糸が強過ぎる。

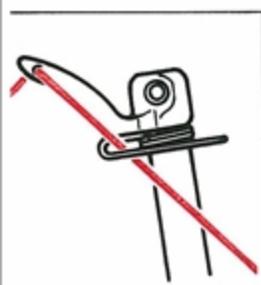


オーバールーパー糸、アンダールーパー糸が弱過ぎる。

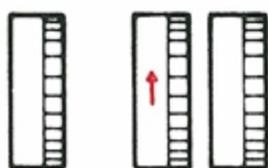




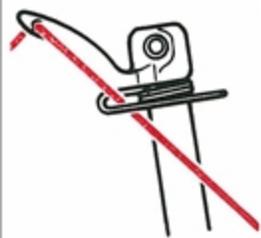
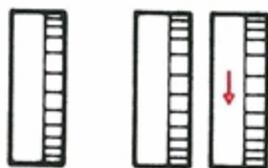
針糸を締め  
てください。



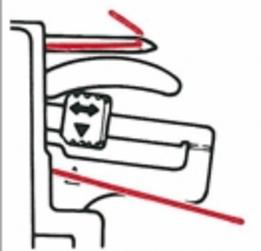
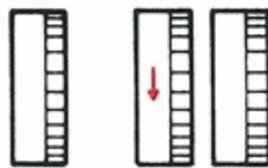
オーバーパー糸を  
ゆるめてください。



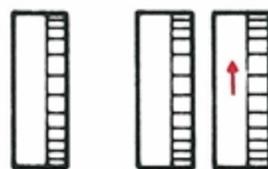
アンダーパー糸を  
締めてください。



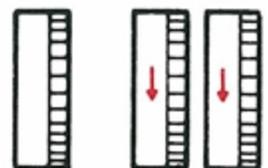
オーバーパー糸を  
締めてください。



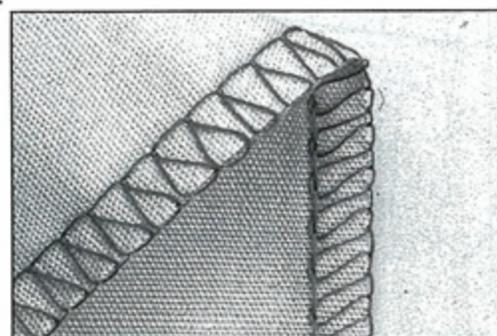
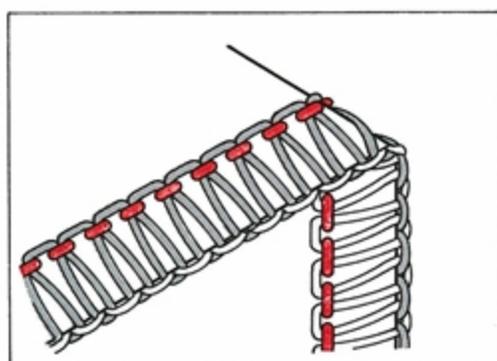
アンダーパー糸を  
ゆるめてください。



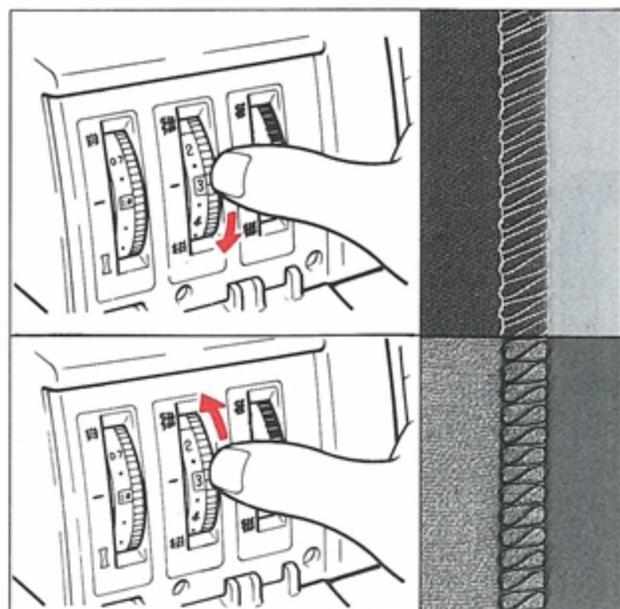
オーバーパー糸、  
アンダーパー糸を  
締めてください。



正しい糸調子



# 10. めい目ピッチとかがり幅の調節



## めい目ピッチの調節

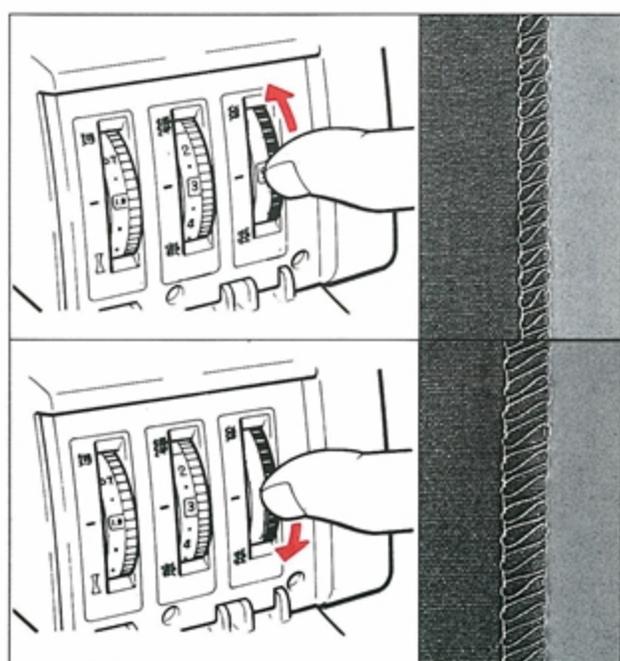
コントロールカバーを開き、めい目ピッチ調節ダイヤルを回して目盛に合わせます。

最小 1mm (目盛R) 標準3mm (目盛3)

最大 5mm (目盛5)

※めい目ピッチ調節ダイヤルの“R”は、巻きぬい用です。

(20・21ページ参照)



## かがり幅の調節

コントロールカバーを開き、かがり幅調節ダイヤルを回して調節します。

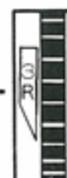
※かがり幅調節ダイヤルの“R”は、巻きぬい用です。

(20・21ページ参照)

最小 3mm (目盛3)

標準 3.5mm (目盛4)

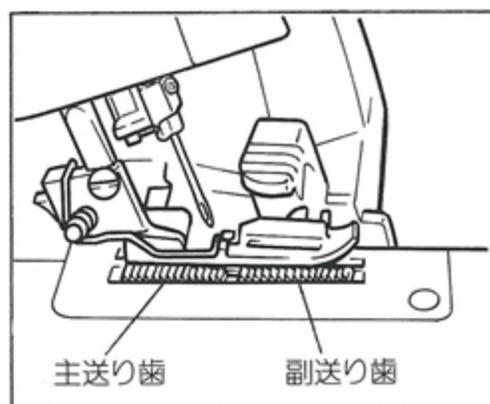
最大 5mm (目盛5)



## ご注意

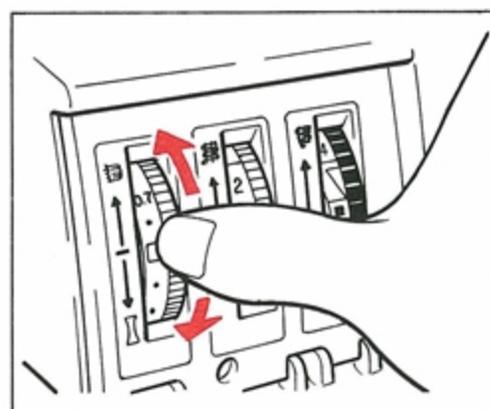
- かがり幅調節ダイヤルを回すときは、布押えを上げてください。

# 11. 差動送り装置付きミシンの場合



差動送りとは、主送り歯(ぬい目ピッチの目盛)に対して、副送り歯の布送り量を変えることで、布地を伸ばしたり縮めたりしながらぬうことができます。たとえば、ぬい目ピッチを“3” (約3mm) 差動比 “2.0” にした場合、副送り歯は約6mm布地を送ります。

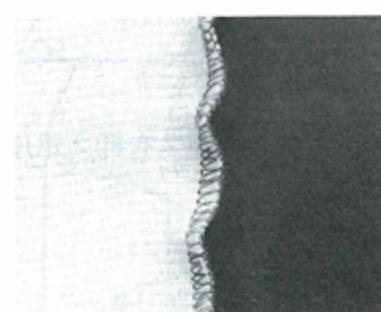
また差動比 “1.0” にした場合は副送り歯は約3mm布地を送ります。



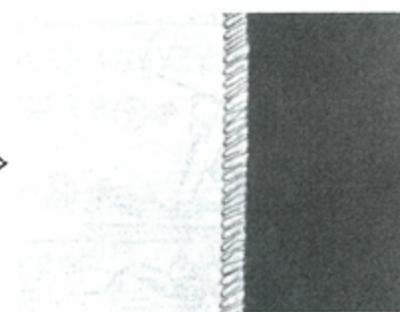
## 差動送りの調節

コントロールカバーを開き差動送り調節ダイヤルを回して目盛に合わせます。

応用例	差動送りのはたらき	主送り歯	差動比	副送り歯
薄地のパッカリング防止 ストレッチロック	布を伸ばしながらぬいます。		0.7~1.0	
普通の縁かがりぬい	普通に、ぬいます。		1.0	
伸縮性のある布地のぬい伸び防止 シャーロック	布を縮めながら、ぬいます。		1.0~2.0	



伸びたぬい目

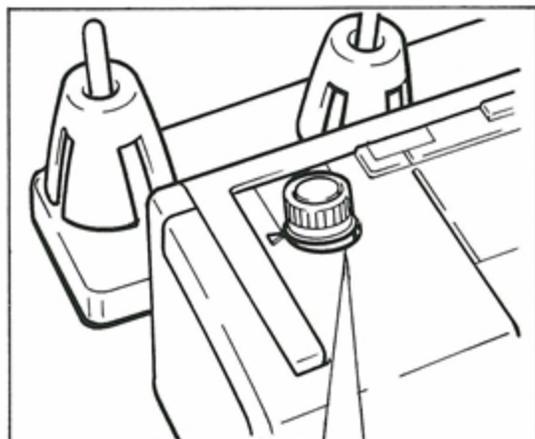


正しいぬい目



用途

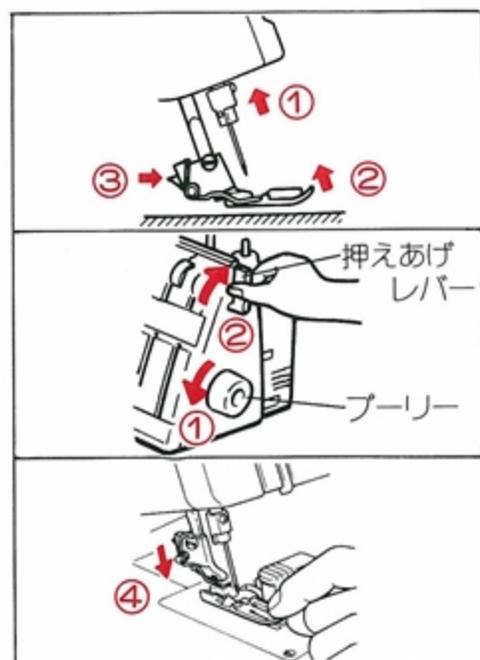
## 12. 押え圧力の調節



押え圧力は、押え調節ダイヤルを回して調節することができます。  
ほとんどの場合、押え圧力を調節する必要はありませんが調節する場合には次の要領で行います。

<p>〈普通地のめやす〉</p> <p>凸ラインと合印上面が合致する位置に合わせる</p>		<p>薄地 伸縮地 ニット地</p>
		<p>厚地</p>

## 13. 布押えの取りはずし、取り付け方



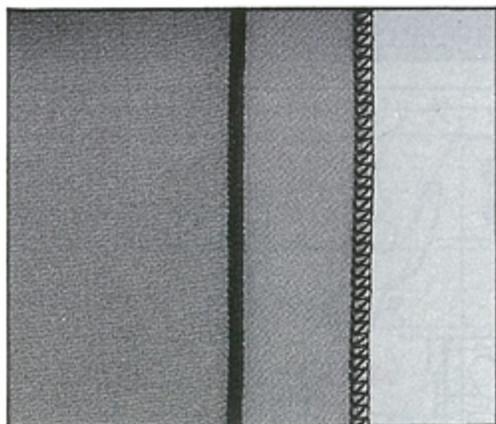
### 布押えの取り付け方

- 1) プーリーを回し、針を最上位にします。
- 2) 押えあげレバーを2段目まで上げたまま、布押えを押えホルダーのうしろから入れます。
- 3) 布押えのピンを押えホルダーの下に置きます。
- 4) 布押えを軽く持ち、押えあげレバーを下げます。  
※押えあげレバーをもう一度上下させ、確実にセットしているか確認してください。

### 布押えの取りはずし方

- 1) 押えあげレバーを上げます。
- 2) プーリーを回し、針を最上位にします。
- 3) ボタンを押します。
- 4) 押えあげレバーをさらにもう1段上げたまま、図のように押えホルダーのうしろへはずします。

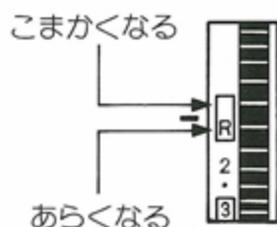
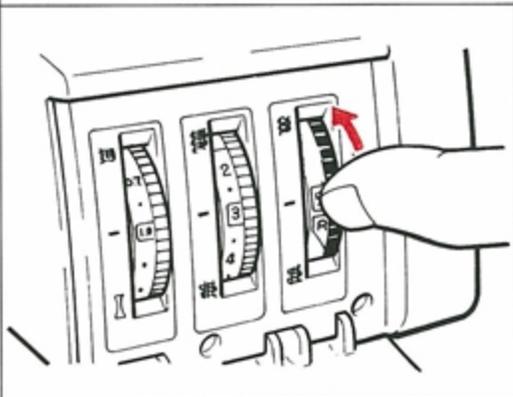
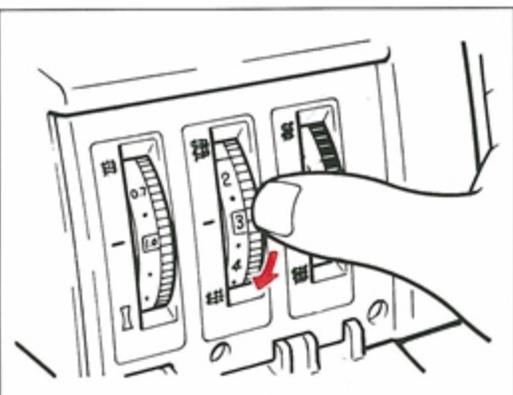
# 14. 巻きぬいと細ロックぬい



1. ミシン各部に表示の“R”は巻きぬいと細ロックをする時に合わせて使用します。

2. ぬい目ピッチとかがり幅を調節します。

- 1) コントロールカバーを開けます。
- 2) ぬい目ピッチ調節ダイヤルを“R”に合わせます。
- 3) かがり幅調節ダイヤルを“R”に合わせます。



布地によって縫い目ピッチを左図の範囲で調節して下さい。

3. ステッチタンクにからんでいる糸をはずします。

- 1) 押えあげレバーを上げます。
- 2) ステッチタンクにからんでいる糸をうしろへ引きます。
- 3) 移動ステッチタンクに糸がからんでいないことを確かめます。

4. 巻きぬい用ステッチタンクに切り換えます。

- 1) 前カバーを開けます。
- 2) プーリーを回し、オーパルーパーを最下位にします。
- 3) 安全レバーを押しながら、ステッチ切換つまみを回して移動ステッチタンクを針板から切り離し、右に倒しておきます。

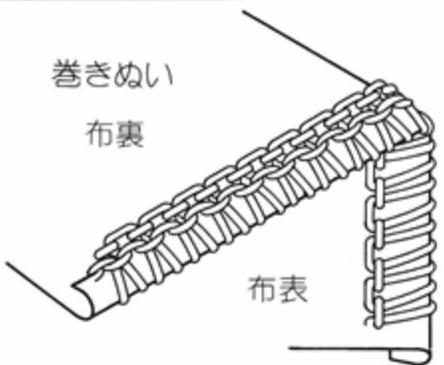
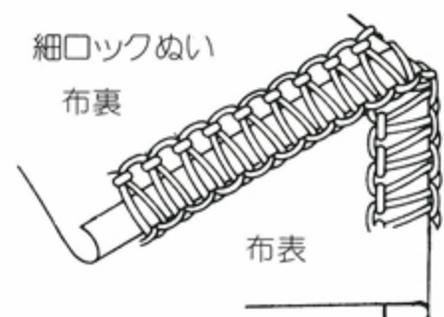
## ご注意

- 安全レバーは、オーパルーパー最下位の状態でしか押せません。
- ステッチ切換つまみは、必ず布押えをはずした状態か、押えあげレバーを上げた状態で回してください。



# 巻きぬいと細口ツクぬい

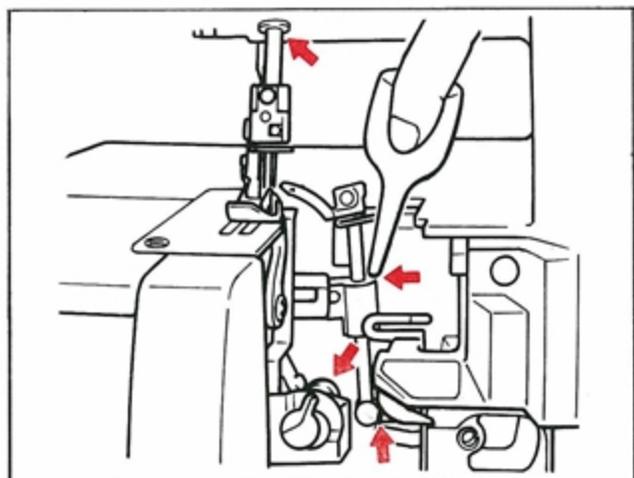
## 布地・糸の種類と糸調子のめやす

巻きぬい	巻きぬい 布裏 	布地	針	糸	オーバールーパー糸	アンダールーパー糸
		糸	薄地 (クレープデシン) ジョーゼット クオーン オーガンジー など	ナイロン糸 80番 テトン糸 80番		ウーリーナイロン糸
細口ツクぬい	細口ツクぬい 布裏 	布地	針	糸	オーバールーパー糸	アンダールーパー糸
		糸調子	薄地 (クレープデシン) ジョーゼット クオーン オーガンジー など	ナイロン糸 80番 テトン糸 80番	ウーリーナイロン糸 ナイロン糸 80番 テトン糸 80番	ナイロン糸 80番 テトン糸 80番
				4 (3~5) 黄色	2 (1~3) 緑色	8 (7~9) 青色
				4 (3~5) 黄色	4 (3~5) 緑色	4 (3~5) 青色

布地の種類や糸の太さにより糸調子が異なることがありますので、その時にはそれぞれの糸を調節してください。

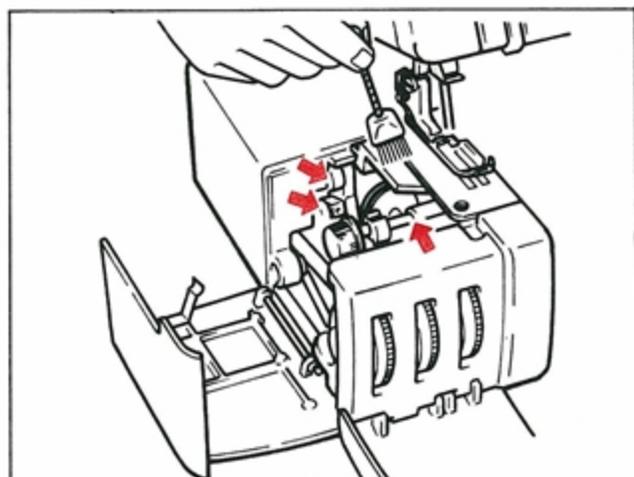
# 15. 注油とお手入れ

次のような作業を行なう場合は、必ず電源スイッチを〈OFF〉にします。



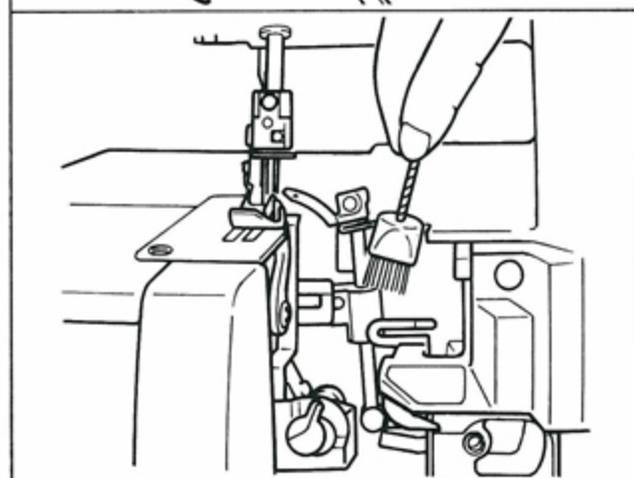
## 注油

- 1カ月に1～2回付属のミシン油を注油してください。  
(毎日数時間ご使用の場合は、1週間に1回注油してください。)
- 矢印の箇所に1～2滴注油してください。



## お手入れ

- ミシン各部にたまったホコリは、付属のミシンブラシでときどき掃除をしてください。



## モーターのカーボンブラシを取り替えるには……

- このミシンのモーターには、カーボンブラシが2個ついています。
  - 長くご使用いただくと、カーボンブラシが摩耗します。そのままお使いになりますと、モーター故障の原因になりますのでご注意ください。
- ※カーボンブラシの取り替えは、最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。(交換・調整は有料)

## いつもきれいに……

- かるい汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどい汚れは中性洗剤を溶かした湯または水を浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふき取ってください。

## ミシンの大敵

- ストーブやアイロンは近づけないでください。
- ベンジン・ガソリン・シンナーなどは絶対に使わないでください。
- 保管するときは、直射日光をさけてください。

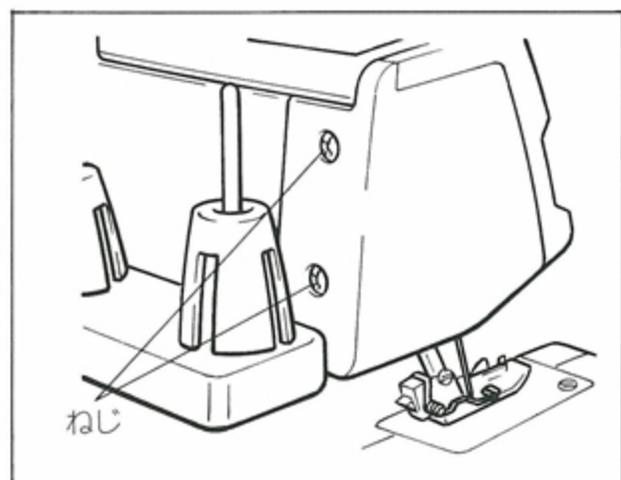
# 16. こんなときには

こんなときには ●ミシンの調子が悪い場合は、まず、次の原因を確かめましょう。もしそれでもなおらない場合は最寄りのブラザー販売店にお申しつけ下さい。

	原 因	処 置 方 法	ページ
1.目とびがする	①針が曲っていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。	4
	②針の取り付けが悪い場合	正しく取り付けます。	4
	③糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。	6~10
	④押えの圧力が弱すぎる場合	押え調節つまみを右へ回し、押え圧力を強くします。	19
	⑤指定以外の針を使用した場合	針はブラザーミシン針HL×5またはHA×1をご使用下さい。	4
2.ぬい目の調子が悪い	①糸調子が正しくない場合	取扱説明書〈糸調子〉の項目をごらん下さい。	14~16
	②糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。	6~10
3.糸が切れる	①糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。	6~10
	②糸が必要以外のところにからんでいる場合	糸掛けなどに糸がからんでいないか確かめます。	6~10
	③糸調子が強すぎる場合	取扱説明書〈糸調子〉の項目をごらん下さい。	14~16
	④針が曲っていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。	4
	⑤針の取り付けが悪い場合	正しく取り付けます。	4
4.ぬい物にしわがよる	①糸調子が強すぎる場合	薄物をぬうときは、できるだけ調子をゆるめます。	14~16
	②押えの圧力が強すぎる場合	押え調節つまみを左に回し押え圧力を弱くします。	19
	③糸の通し方がまちがっていたり、必要以外のところにからんでいる場合	正しく通し直します。	6~10
	④差動送りの調節が悪い場合	〈TE4-B935型差動送り〉の項目をごらん下さい。	18
5.布地を送らない	①押えの圧力が弱すぎる場合	押え調節つまみを右に回し押え圧力を強くします。	19
	②布地に対するぬい目ピッチがあっていない場合	正しいぬい目ピッチにあわせます。	17
6.針が折れる	①針が曲っていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。	4
	②布地を無理に引張った場合	ぬいながら布地を強く押えたり、引張らないでください。	
	③針の締めねじがゆるんでいたたり、針の取り付けが悪い場合	正しく取り付けます。	4
7.ミシंगा回転しない	電源コンセントが外れていたり、電源スイッチが「ON」になっていない場合	コンセントを差し込み、電源スイッチを「ON」にします。	11

その他のむずかしい調整や部品の交換などはお買上げの店にご相談下さい。

## 17. ランプの交換

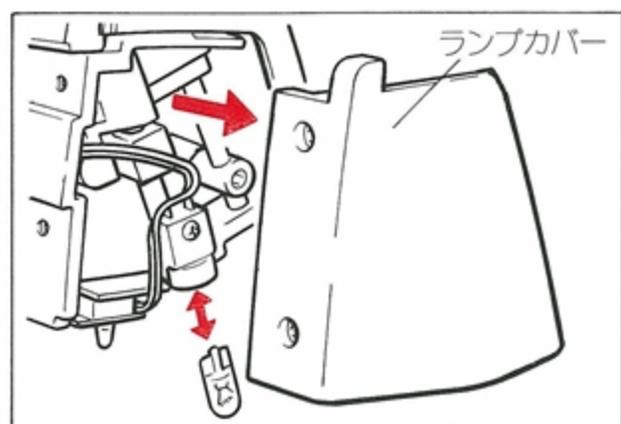


### ランプの交換

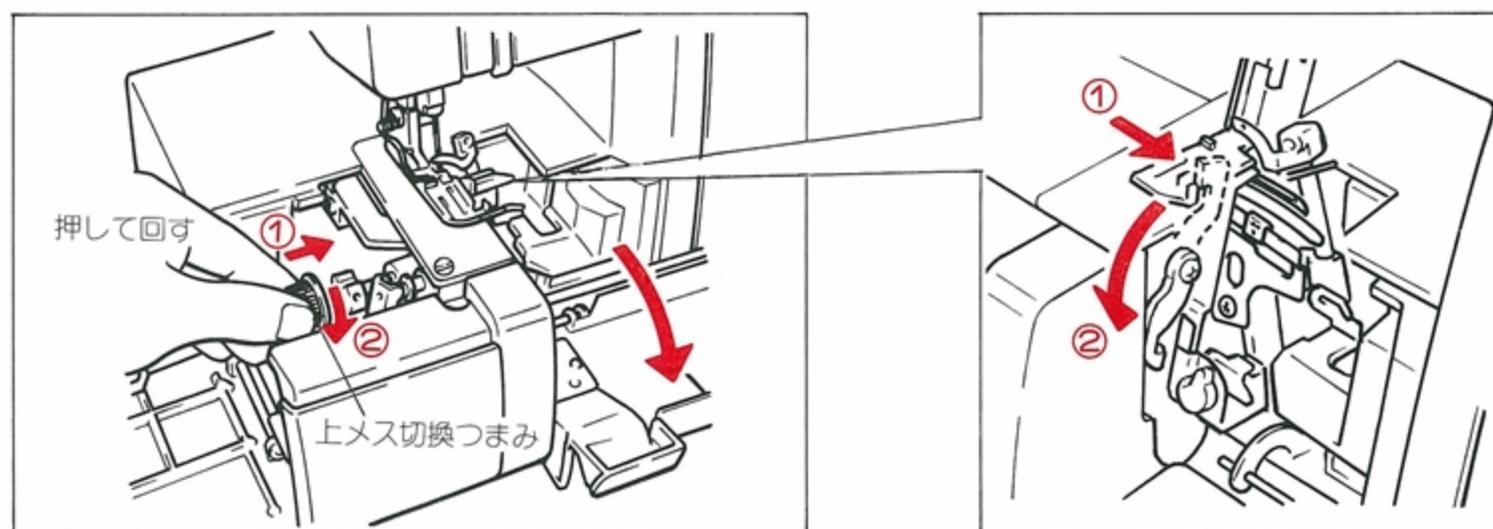
図のようにランプカバーをはずします。

ランプを引き抜き、新しいランプに取り替えます。

※ランプ(8V、2.4W部品コード：X50228-001)は、最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。



## 18. 上メスのたおし方



### 布を切らずにぬいたい場合

- 1) 針を針板より上の位置にします。
- 2) 布板カバー前を開き、上メス切換つまみを押してから回し、上メスをたおします。

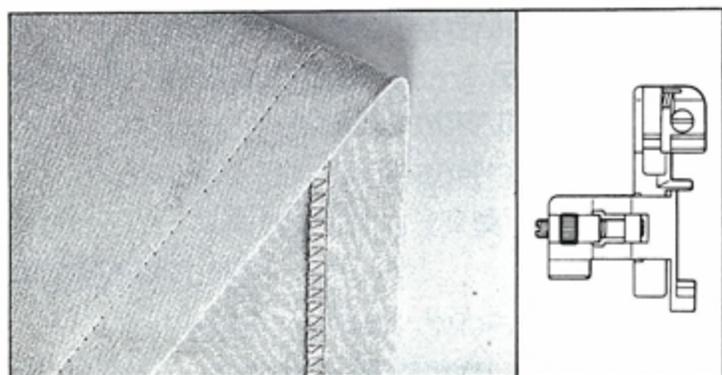
### ご注意

かがり幅が、かがり幅調節ダイヤルの目盛より、広くなり過ぎないようにしてください。広くなり過ぎるとオーバーローパーが布端に引っかかり、故障の原因になります。  
※ぬい始める前に、布板カバー前を閉じてください。

# 別売り布押えのぬい目

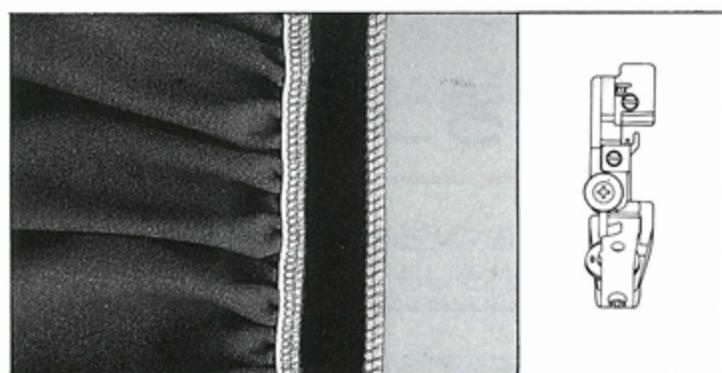
---

## まつりぬい押えのぬい目



部品コード：X76590-001

## テープ付け押えのぬい目



部品コード：X76980-001

# 19. 仕様

項 目	仕 様
ぬい速度(最高)	毎分1300針
ぬい目ピッチ	縁かがりぬい 2~5mm(標準3mm) 巻きぬい R(約1mm)
布 押 え	縁かがり巻きぬい兼用
布押え上昇量(2段め)	5mm(6mm)
か が り 幅	縁かがりぬい 標準 約3.5mm (3~5mm) 巻きぬい 1~2mm
差 動 比 (FE4-B935の場合) 使用ミシン針	0.7~2.0  HL×5 (11番, 14番) HA×1 (11番~16番)
使用糸本数	3本
ミシン重量	8.5kg
モーター定格	電圧100V・50/60Hz 105W
ランプ定格	電圧8V 2.4W
ミシン定格	電圧100V・50/60Hz 100W

## アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください）それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのプラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、お買い上げ日から最低8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

### お客様相談コーナー

北海道事業所	〒060	札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011)261-6631
東北事業所	〒980	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877
東京事業所	〒104	東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)3281-4204
中部事業所	〒467	名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL:(052)824-3193
関西事業所	〒542	大阪市中央区心斎橋筋1-2-19	TEL:(06)252-1797
中国事業所	〒730	広島市中区胡町4-28	TEL:(082)240-3762
四国事業所	〒760	高松市寿町1-1-5	TEL:(0878)51-7342
九州事業所	〒812	福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092)431-3894
沖縄事業所	〒900	那覇市泊3-1-2	TEL:(098)868-4511

- プラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

### プラザー工業株式会社

取扱店

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467  
TEL:(052)824-2511(代表)